

□ 航空管制運航情報官

航空保安大学校 航空情報科

「安全はすべてに優先します」

航空保安大学校は、航空保安職員を養成する日本唯一の教育・訓練機関です。

空の安全を支える航空保安業務は、常に航空機が安全かつ効率的に運航することを目的としています。

「航空情報科」では、
「航空管制運航情報官」を養成しています。

航空管制運航情報官の主な仕事は、

【運航の管理】

飛行計画書（フライトプラン）の内容を審査し、航空機を運航監視し、不測の事態が発生したときには搜索救難業務を行います。

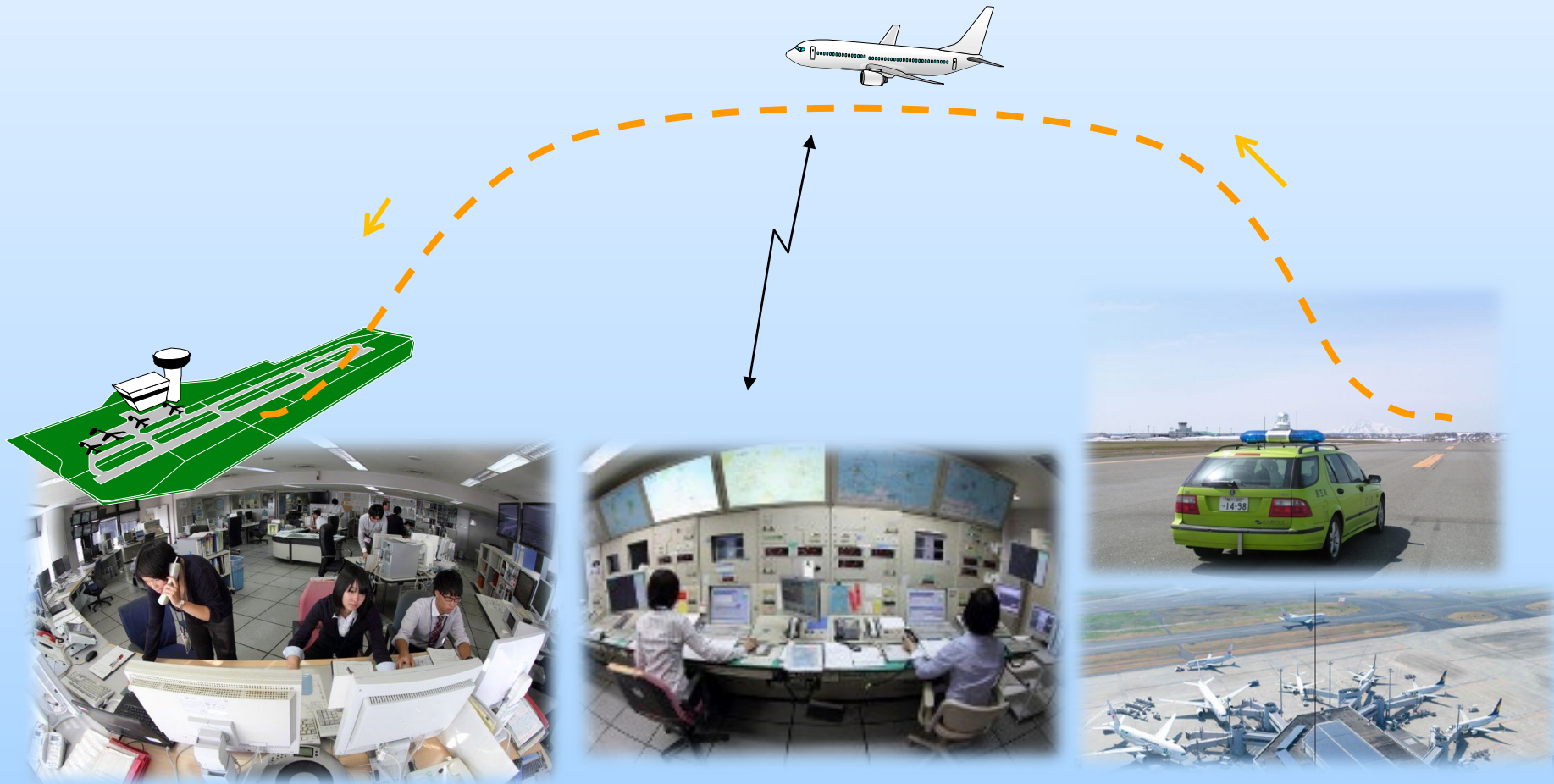
【情報の提供】

飛行に必要な情報の提供を行います。無線にて飛行中の航空機と直接交信する業務も行っています。

【飛行場の管理】

航空機が地上で利用する、滑走路、誘導路、エプロン（駐機場）等を常に安全に使用できるよう、運用・管理しています。

航空機の安全かつ円滑な運航を援助する広範囲な業務です。



運航援助情報業務

飛行計画の審査、運航の監視、
捜索救難等

対空援助業務

飛行中の航空機に対し無線による情
報提供

飛行場情報業務

滑走路・駐機場(スポット)等の管理運用

飛行に必要な情報の提供

航空機が安全に飛行するために必要な情報をパイロット等へお知らせしています。

空港施設の状態
ここは
使えません！



空港施設の状態



飛行のさまたげとなる情報

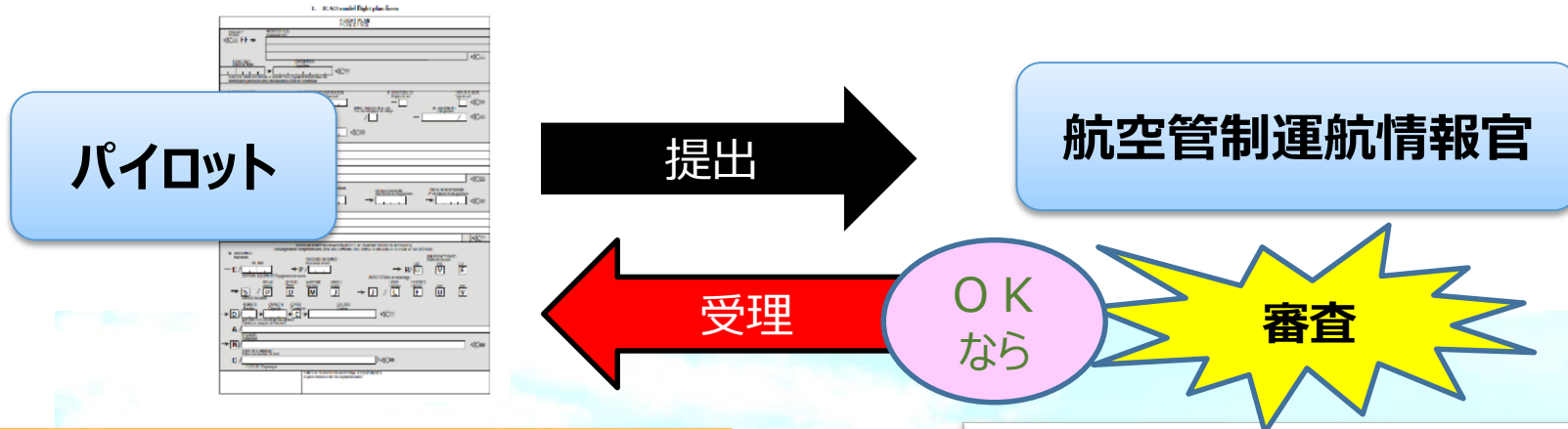


無線施設の運用状態



航空管制に関する情報

飛行計画の受理・審査



飛行計画書に記入すること

- 出発時刻
- 飛行時間
- 飛行経路
- 燃料
- 機長の氏名
- 搭乗人数

など

→内容に不備はないかな？
→必要な情報を提供



運航の監視



「飛行計画」の情報をもとに、計画どおりに飛行し、目的空港に到着するまでを監視します。

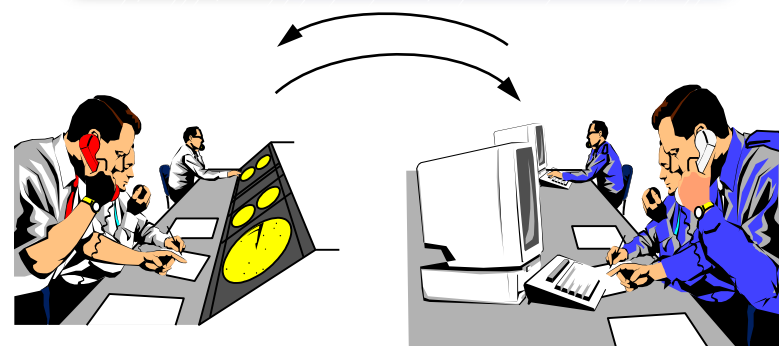
予定時刻を過ぎても状況が把握できない場合は、「搜索救難業務」を開始します。

搜索救難業務

航空機が到着予定時刻を一定時間過ぎても到着しない場合や、緊急通信を受信したとの連絡があった場合等は、航空機の搜索救難に関する関係機関との連絡、調整を実施します。

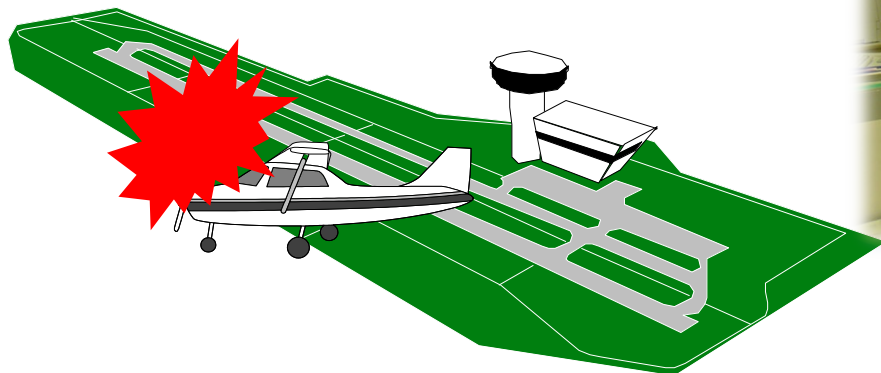


東京救難調整本部
(Tokyo RCC)



事故調査の援助

航空機の事故が起きたとき、「運輸安全委員会」の事故調査に必要な支援活動、情報収集などを行います。



ATIS

(automatic terminal information service)

飛行場に発着する航空機に航行に必要な情報を音声又はデータにより情報を提供します。



```
ACARS MSG  
XXX123 /09 RJTT/RJFF JAXXXX 01:02:55  
FROM TYODLYA 090102  
-----  
OPERATION MSG  
  
ATIS RJTT G  
M0100  
(APCH)ILS Z RWY34L  
LDG RWY 34L  
DEP RWY 34R  
DEP FREQ 126.0  
M  
0900100Z 02011KT 10KM SCT025SC  
BKN030SC  
10/04 Q1015/A2998=  
Q/TWO NINE NINE EIGHT  
STP
```

運航許可

航空機の運航に係る様々な運航許可事務を実施しています。



飛行場以外での離着陸、低空飛行、無人航空機、花火やロケットなど、運航に影響のあるおそれのある行為など、様々な許可事務を実施しています。

外国航空機に係る立入検査（ランプ・インスペクション）

外国航空機が空港に到着した後出発するまでの間、外国航空機に対して、安全を確認するため立入検査を行います。



空港の管理（空港場面点検）

滑走路等に物が落ちていないか、路面に異常がないかなど、定期的に車両により点検を行っています。



滑走路等の点検

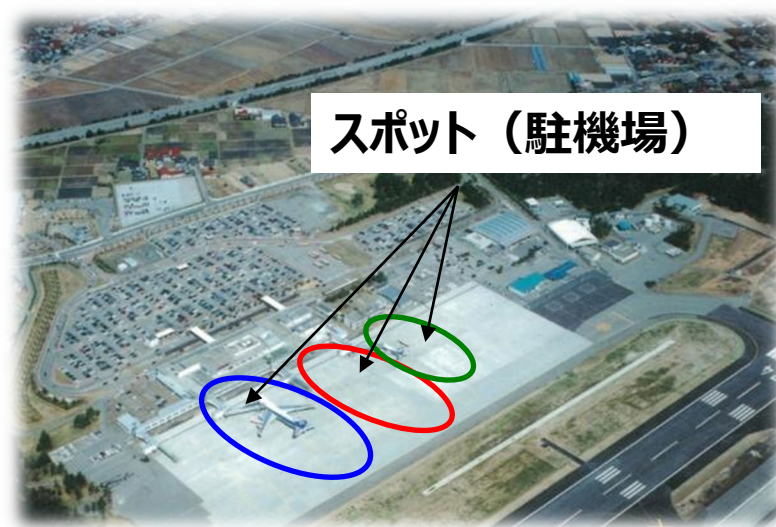


雪氷調査



スポット（駐機場）の調整

航空機の大きさ、駐機する時間などを考えながら、駐機場所を決めます。



航空会社の要望、空港施設のこと・・・たくさんのことを考えないといけないよ。



空港の管理（航空機の誘導）



外国の要人機などが着陸してから駐機場に到着するまで、順路を間違えたりしないように、要請に応じて先導をすることもあります。



立入承認・車両使用承認

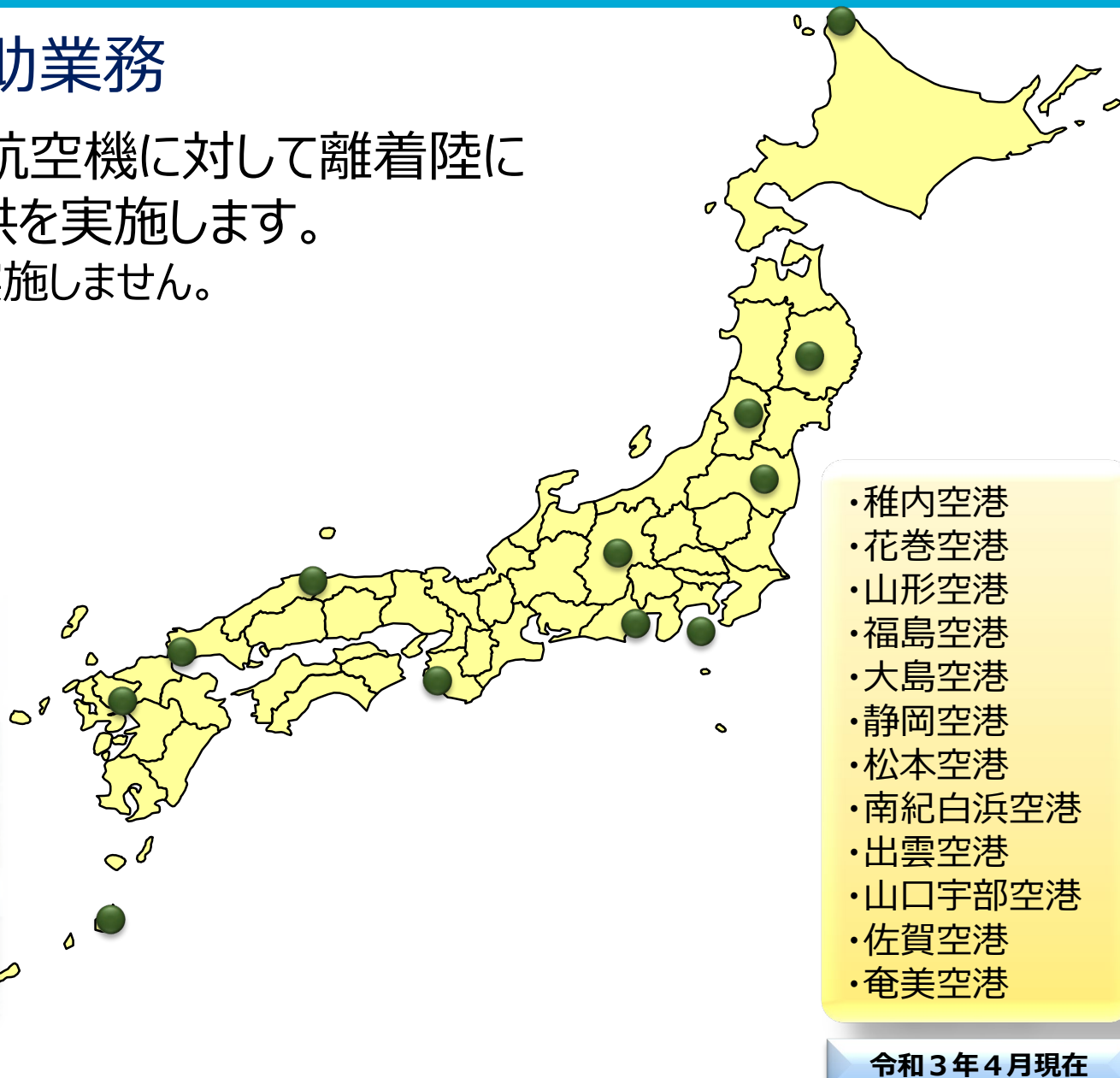
空港の制限区域で働く人に対して、立入の承認をしたり、車両に対して車両使用の承認をしたりします。
また、空港内で車両の運転をする人に対して講習会を実施しています



◆ 飛行場対空援助業務

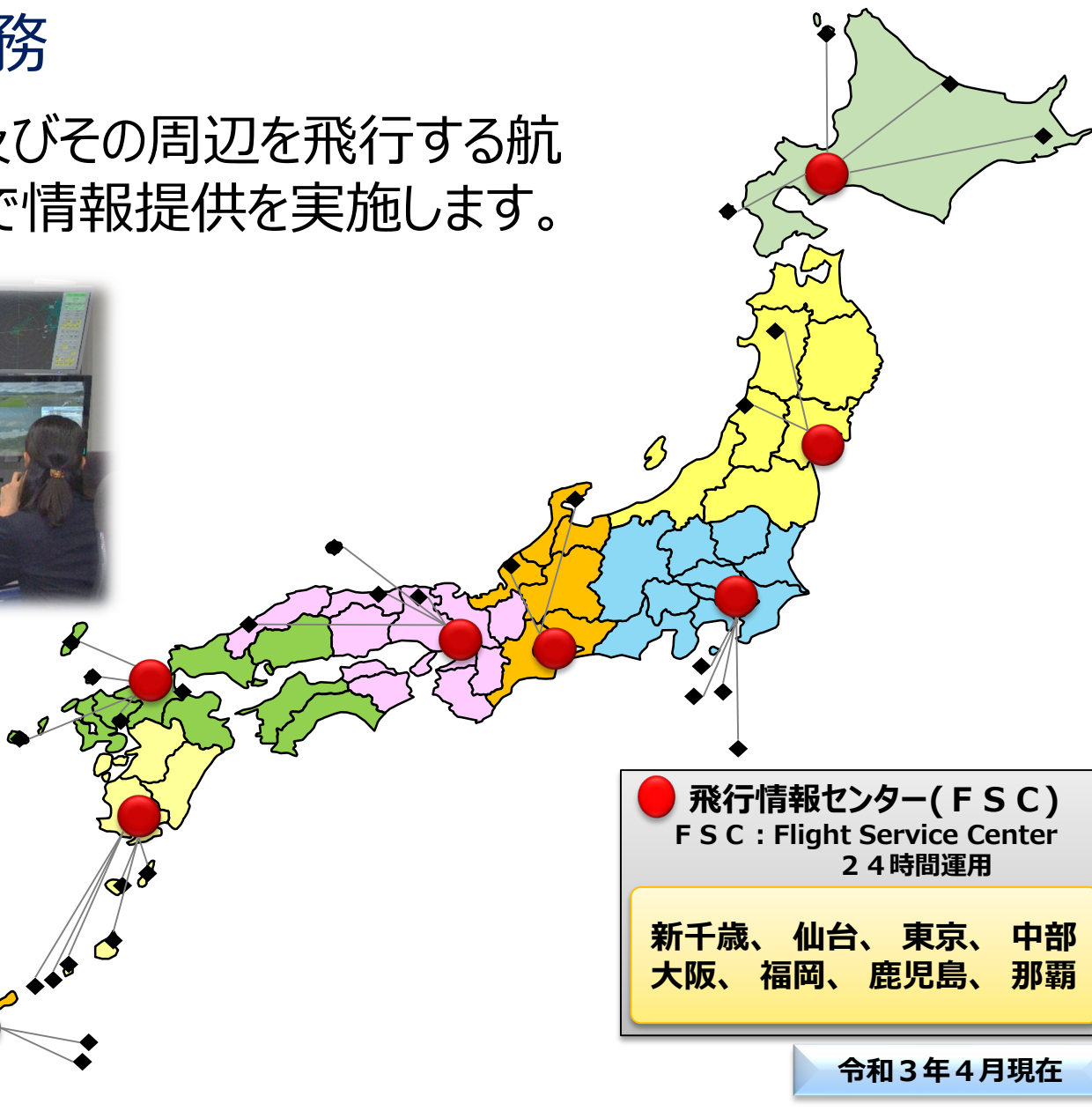
飛行場において、航空機に対して離着陸に必要な情報の提供を実施します。

（注）管制業務は実施しません。



◆ 他飛行場援助業務

離着陸する航空機及びその周辺を飛行する航空機に対して、遠隔で情報提供を実施します。

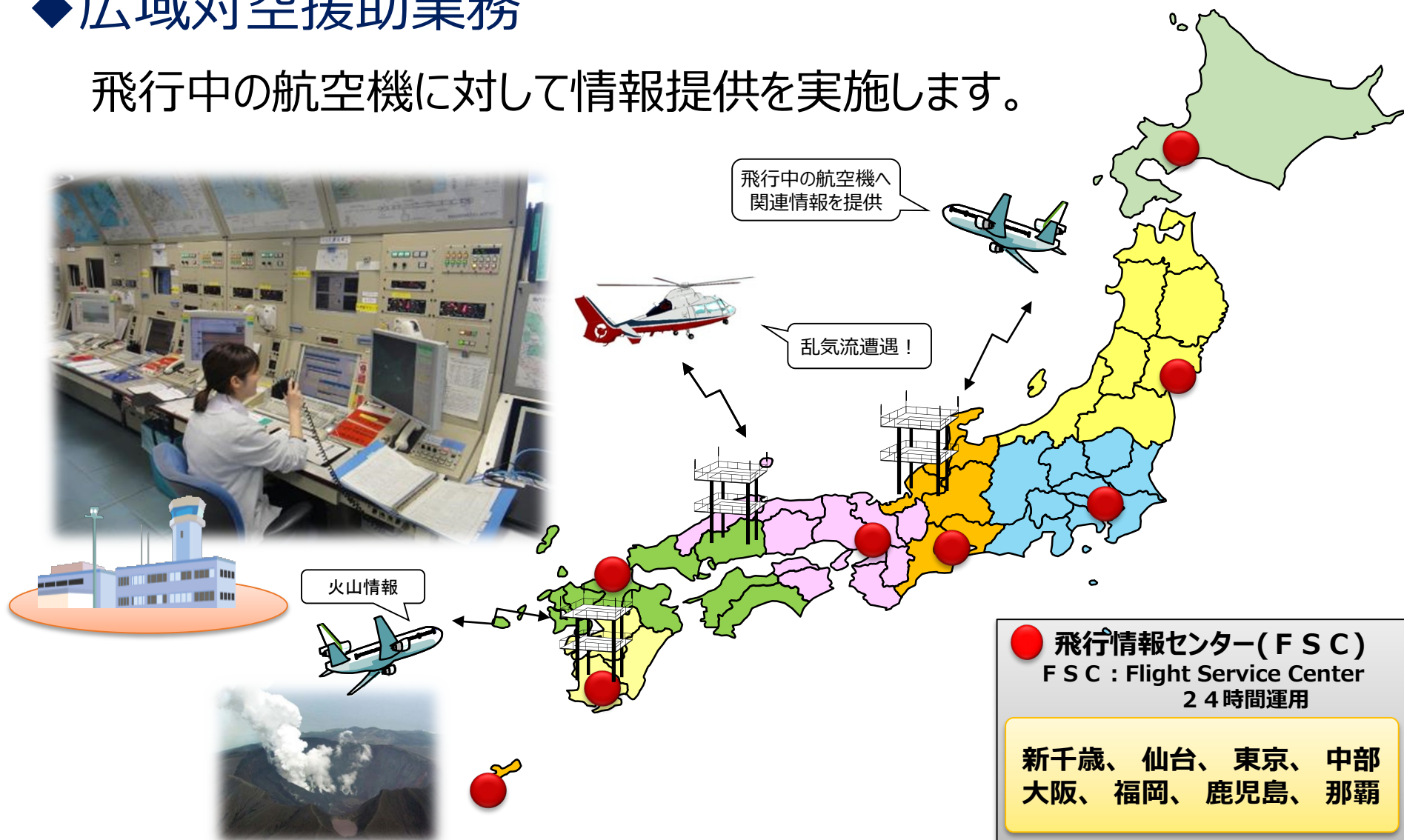


● 飛行情報センター(F S C)
F S C : Flight Service Center
24時間運用

新千歳、仙台、東京、中部
大阪、福岡、鹿児島、那覇

◆ 広域対空援助業務

飛行中の航空機に対して情報提供を実施します。



➤ 全国各地の空港等で勤務します。

- ◇ 広島空港
- ◆ 松山空港
- ◆ 高知空港
- △ 岩国空港
- ◆ 山口宇部空港
- ◆ 北九州空港
- ◆ 福岡空港
- ◆ 佐賀空港
- ◆ 長崎空港
- ◆ 大分空港

- ◆ 大阪国際空港
- ◆ 八尾空港
- ◆ 関西国際空港
- ◆ 神戸空港
- ◆ 南紀白浜空港
- △ 美保空港
- ◆ 出雲空港
- △ 徳島空港

- △ 小松空港
- ◇ 中部国際空港

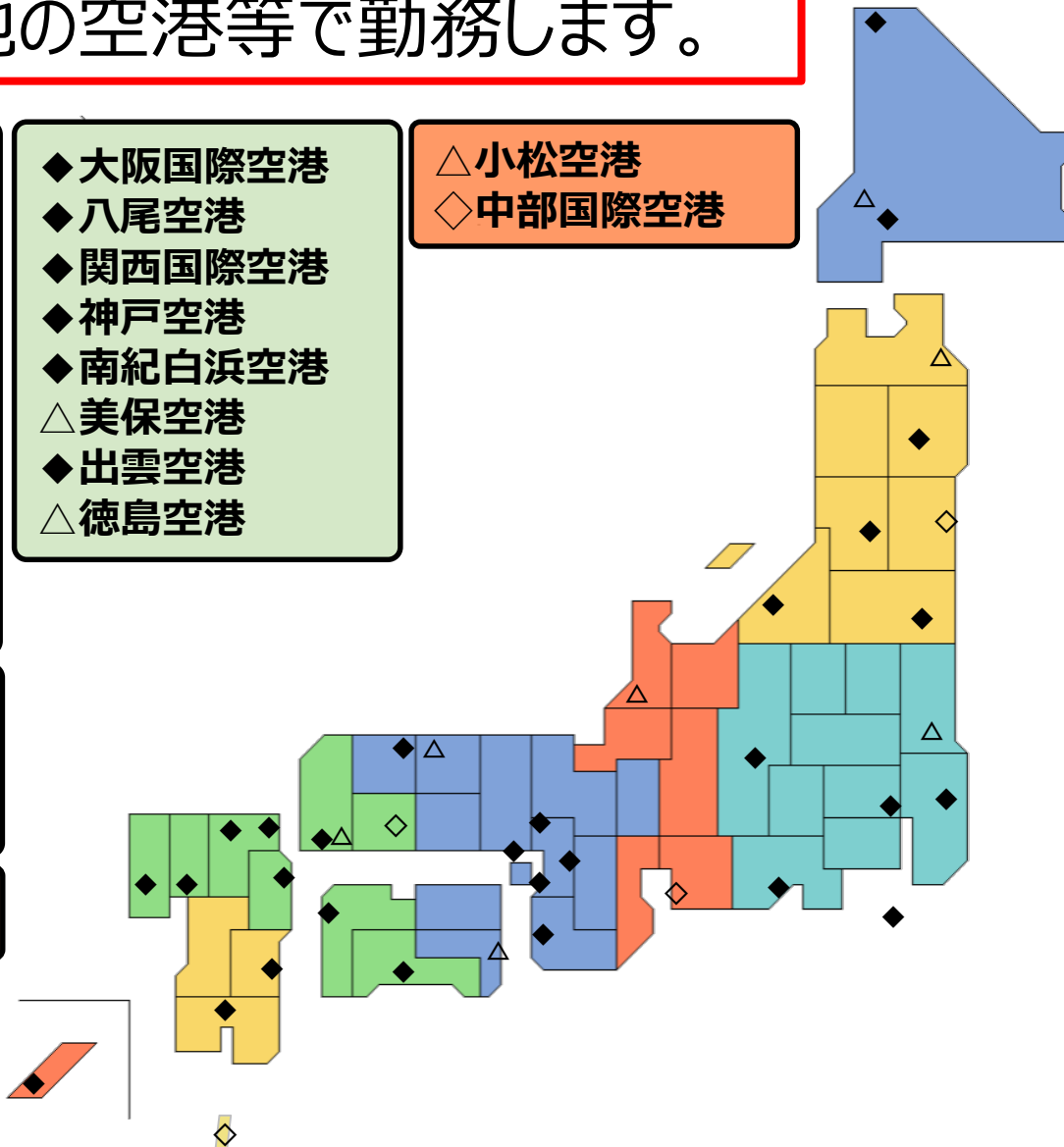
- ◆ 稚内空港
- △ 丘珠空港
- ◆ 新千歳空港

- △ 三沢空港
- ◆ 花巻空港
- ◇ 仙台空港
- ◆ 山形空港
- ◆ 福島空港
- ◆ 新潟空港

- ◆ 宮崎空港
- ◆ 鹿児島空港
- ◇ 奄美空港

- ◆ 那覇空港

- △ 百里空港
- ◆ 成田国際空港
- ◆ 東京国際空港
- ◆ 大島空港
- ◆ 静岡空港
- ◆ 松本空港



航空情報科卒業生は、航空管制運航情報官の資格取得後、空港以外の様々な職場でも活躍しています。



【航空交通管理センター】

(勤務地：福岡県福岡市)



【国際対空通信局】

(勤務地：千葉県成田市)

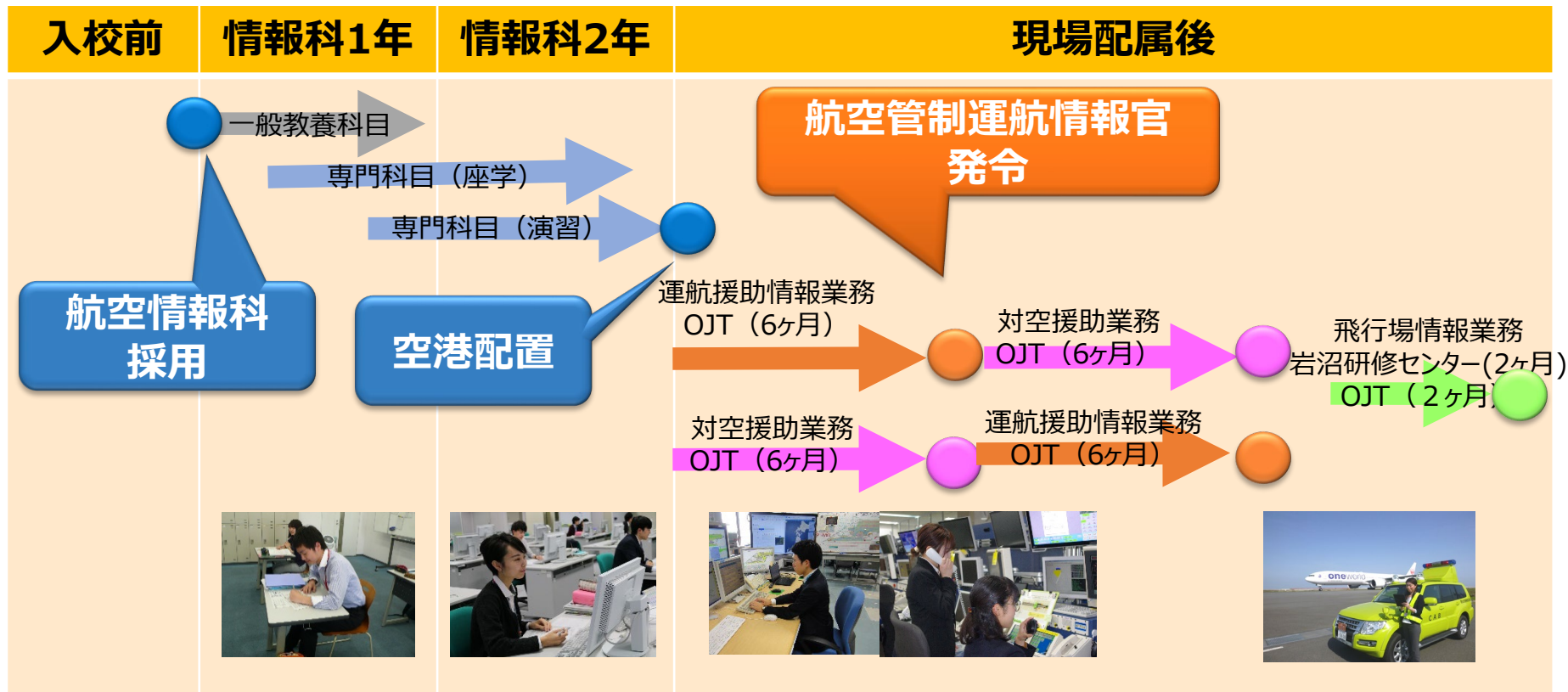


【航空情報センター】

(勤務地：千葉県成田市)



【国土交通省 / 東京航空局 / 大阪航空局】



- 航空情報科に採用後、将来就く業務に関する基礎知識と技術を習得します。
(研修期間 2年)
- 研修修了後、全国の空港に配置され、現場訓練を経て資格取得後、
「航空管制運航情報官」として業務に従事します。
- 「航空管制運航情報官」発令後も、研修は続きます。

➤ 航空保安大学校は、一般の大学とは違います。

入学したら、**国土交通省職員** すなわち **国家公務員** となり、将来の **航空管制運航情報官** として業務をする為に必要な知識を学びます。

➤ 「航空管制官」や「航空管制技術官」にはなれません。

入学後、コースを変更することはできないので、しっかりと将来の自分のやりたいことをイメージして下さい。

皆さんの入学をお待ちしております

航空保安大学校

